

令和7年6月18日（水曜日）

佐伯市立彦陽中学校 石原 孝晃先生の授業です。

授業の単元は、第1学年「正の数と負の数」。身近なことがらを数学の問題にして、仮平均を基に効率よく平均値を求める場面です。

授業の導入では、彦陽中学校における2019年度からの入学者数を大型モニターに映し、身近な事象を考察させるなど、生徒の興味・関心を高める工夫がなされていました。

積極的に生徒に問い掛け、やり取りを行い、生徒とともに授業を作り上げようとする姿が見られました。また、普段から数多くの学級通信を発行し、生徒のよさを発信し続けるなど、学級経営を大切にしていることにより、生徒が自分の考えを自由に発言できる雰囲気が学級全体に広がっていました。

授業後の研究会においても、授業における質問を積極的にするなど、授業力を高めようとする石原教諭の姿に若手教師としての心意気を感じさせられました。今後も、※数学教員向けワンポイント動画などを活用し、生徒の中に問いが生まれるような問題提示などの工夫を意識した授業づくりを行ってくださることを願っています。

【数学教員向けワンポイント動画】掲載場所

大分県公立学校総合情報ポータルサイト

(OEN システムを利用することのできる全教職員向けの情報サイトです。)

<https://sites.google.com/a/oen.ed.jp/school-portal/kaigi/gimu>

